

# 平成 25 年度 三重大学修学達成度評価 報告書（概要）

## －三重大学生の 4 つの力に関するアンケート－

高等教育創造開発センター教育評価部門

### 1. 調査の概要

#### 1.1 調査 1（春実施）

調査対象 平成 25 年度新入学生 1,393 名

調査方法 新入生が受講する授業にて、調査用紙を学生に配付した。

調査時期 平成 25 年 4 月～5 月

有効回答者数（率） 1,288 名（92.5%）

#### 1.2 調査 2（秋実施）

調査対象 三重大学に在籍する学部生 6,171 名

調査方法 三重大学ウェブ調査システムを用いて実施した。

（一部の学科・学年において紙媒体での回答があった）

調査時期 平成 25 年 8 月～9 月

有効回答者数（率） 4,883 名（79.1%）

#### 1.3 分析対象者数

有効回答者より所属不明の学生のデータと在籍年数が 5 年目以上（医学科は 7 年目以上）の学生のデータを除外した。調査 1 の分析対象者は、1,278 名、調査 2 は、4,719 名であった。

表1 分析対象者数

		人文	教育	医	工	生物資源	合計
1年目	調査1(春)	238	208	195	378	259	1,278
1年目	調査2(秋)	250	204	191	371	255	1,271
2年目		274	204	155	373	244	1,250
3年目		233	205	130	371	235	1,174
4年目		143	195	185	297	162	982
5年目		—	—	7	—	—	7
6年目		—	—	35	—	—	35



### 2. 「4 つの力」の結果について

#### 2.1 「感じる力」

##### (1) 「感じる力」の得点について

大学の学習への動機づけを感じる力を 24 項目で設定し、「全くそう思わない」から「非常にそう思う」の 5 段階で回答を求めた。



- ・ 価値に関する得点（「利用価値」や「社会的利用価値」、「興味価値」、「私的獲得価値」）は、1年目春の学生の平均値が高かったが、1年目秋になると低下した（2年目以降も低い傾向）。1年目春の動機づけの高さを維持することが難しいことを示している。
- ・ 「効力予期」は、4年目の学生の平均値が高かった。4年生は大学の学習をやり遂げることができると感じている。

表2.1.1.1 感じる力の得点 平均値(全学生)

	効力予期	利用価値	社会的利用価値	興味価値	私的獲得価値	感情的要因	社会的環境	動機づけ総合指標
1年目春	3.25	4.17	3.84	3.65	4.22	3.06	3.63	-
1年目秋	3.25	3.86	3.70	3.46	3.89	2.80	3.54	3.46
2年目	3.18	3.72	3.56	3.33	3.77	2.74	3.47	3.37
3年目	3.19	3.68	3.55	3.32	3.73	2.76	3.50	3.43
4年目	3.32	3.72	3.61	3.37	3.78	2.81	3.55	3.52
全学年	3.24	3.84	3.66	3.43	3.89	2.84	3.54	3.44

※得点の幅は1～5点。中点は3点。

※全学年は、医学科5年生・6年生のデータを含む。

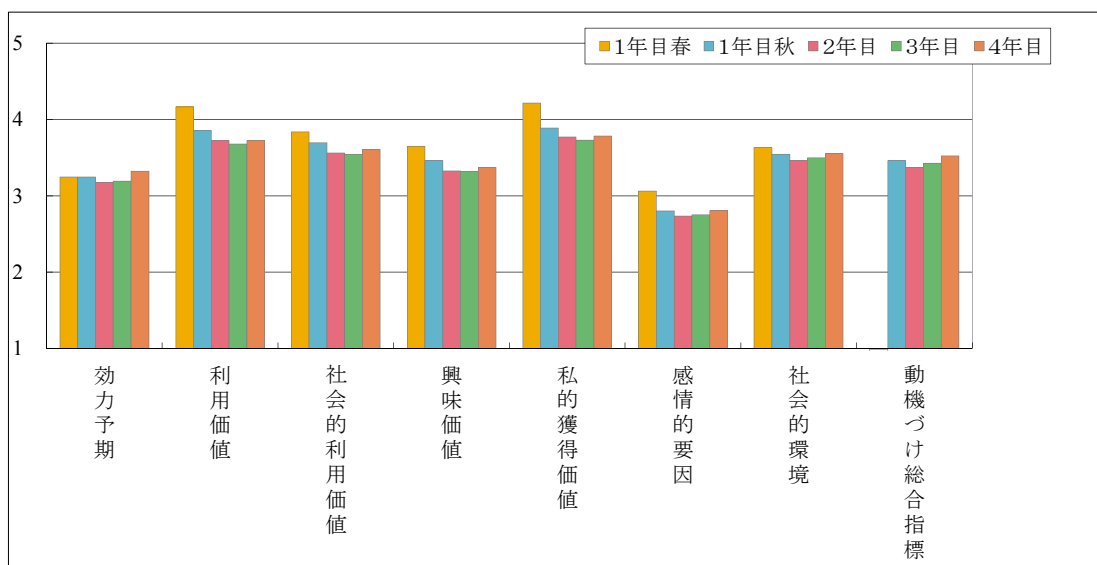


図2.1.1.1 感じる力の得点 平均値(全学生)

効力予期	学習をやり遂げることができると感じること
利用価値	学習が自分の将来に役立つという価値づけ
社会的利用価値	学習が他者や社会に役立つという価値づけ
興味価値	取り組む課題が面白いと感じる価値づけ
私的獲得価値	学習することによって、なりたい自分に近づけるという価値づけ
感情的要因	学習に対して感じる感情(平均値が高いほどポジティブな感情)
社会的環境	学習をサポートしてくれる他者の存在
動機づけ総合指標 (調査2のみ)	大学での学習に積極的に取り組む姿勢

(2) 「心身の健康」に対する意識について

規則正しい生活について「心がけていない」から「心がけている」の5段階で回答を求めた。

- どの学年の平均値も3.5点（中点は3点）付近であり、規則正しい生活を心がけている。

表2.1.1.2 規則正しい生活  
についての平均値(全学生)

	規則正しい生活を心がけている
1年目春	3.62
1年目秋	3.61
2年目	3.44
3年目	3.46
4年目	3.57
全学年	3.54

※得点の幅は1～5点。中点は3点。  
※全学年は、医学科5年生・6年生のデータを含む。

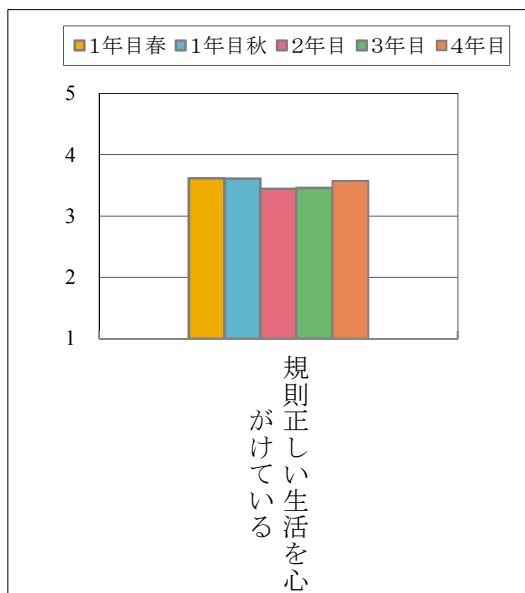


図2.1.1.2 規則正しい生活についての平均値(全学生)

(3) 「感じる力」の習得について

感じる力の習得に関する2項目について、「全くそう思わない」から「非常にそう思う」の5段階で回答を求めた。

表2.1.1.3 感じる力の習得についての  
平均値(全学生)

	「感じる力」を身につけるには、苦しい思いをしますか	「感じる力」は、三重大学の教育を通して身につけられますか
1年目春	4.06	3.83
1年目秋	3.67	3.47
2年目	3.54	3.25
3年目	3.54	3.23
4年目	3.61	3.25
全学年	3.69	3.42

※得点の幅は1～5点。中点は3点。  
※全学年は、医学科5年生・6年生のデータを含む。

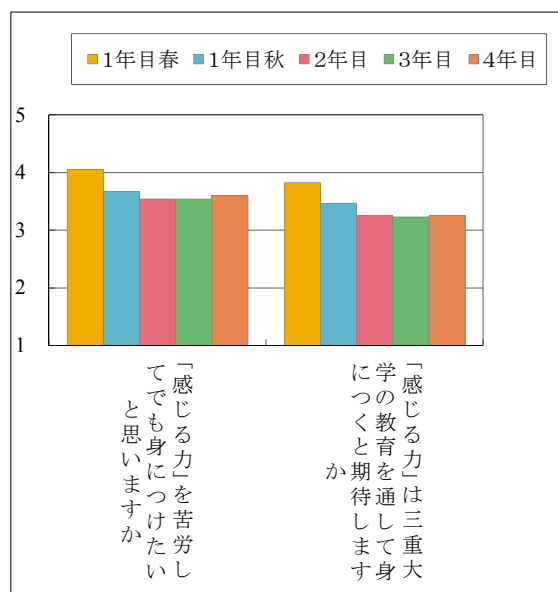


図2.1.1.3 感じる力の習得についての平均値(全学生)

- ・ 2項目とも1年目春の学生の平均値が最も高く、2年目以降の学生はやや低かった。入学直後の学生は、感じる力を身につけたいと考えており、また大学教育に対する期待も高いことが示された。
- ・ 他の3つの力（考える力・コミュニケーション力・生きる力）の習得についての結果と比べると、感じる力の2項目は平均値が低かった。



## 2.2 「考える力」

### (1) 「考える力」の志向性と経験について

考える力について、志向性12項目と経験12項目を設定した。志向性は、「全くなりたくない」から「非常になりたい」の7段階で回答を求めた。経験は、「全くしていない」から「いつもしている」の7段階で回答を求めた。

- ・ 志向性の「要点理解」と「決断力」について、全学年を通して平均値が高かった。学生が問題の要点を理解し、物事に対して適切に決断するような人になりたいと考えていることが示された。
- ・ 志向性の「論理・証拠の重視」は、1年目春の学生の平均値がやや低かった。入学直後の学生は、どの得点も高い傾向にあるが、論理や証拠に基づいて考えようとする志向性は低いようである。
- ・ 経験の得点（「要点理解」「論理・証拠の重視」「脱軽信」「決断力」）について、4年目の学生の平均値が高かった。4年生は、考える力を使うような経験をしていると感じていることが示された。
- ・ 「要点理解」と「決断力」について、志向性の平均値は高いが、経験は低かった。問題の要点を理解し、適切に判断するような人になりたいが、そのような経験はあまり感じていないことが示された。

表2.1.2.1 考える力 志向性と経験の平均値(全学生)

	志向性				経験			
	要点理解	論理・証拠の重視	脱軽信	決断力	要点理解	論理・証拠の重視	脱軽信	決断力
1年目春	6.31	4.83	5.06	5.82	—	—	—	—
1年目秋	6.00	4.96	5.09	5.67	4.87	4.63	4.69	4.64
2年目	5.84	4.95	5.04	5.53	4.80	4.58	4.62	4.52
3年目	5.83	4.96	5.01	5.49	4.81	4.62	4.62	4.57
4年目	5.90	5.01	5.08	5.57	4.95	4.72	4.73	4.74
全学年	5.98	4.94	5.06	5.62	4.85	4.63	4.66	4.61

※得点の幅は1～7点。中点は4点。

※全学年は、医学科5年生・6年生のデータを含む。

	志向性	経験
	(下記のような人になりたいかどうか)	(最近、下記のような経験したか)
要点理解	問題の要点を素早くつかんで理解する	
論理・証拠の重視	論理や証拠を重視し、それに基づいて考える	
脱軽信	情報を鵜呑みにせず、本当に正しいのかいったん考える	
決断力	物事に対して、いつまでも思い悩まず、適切に決断する	

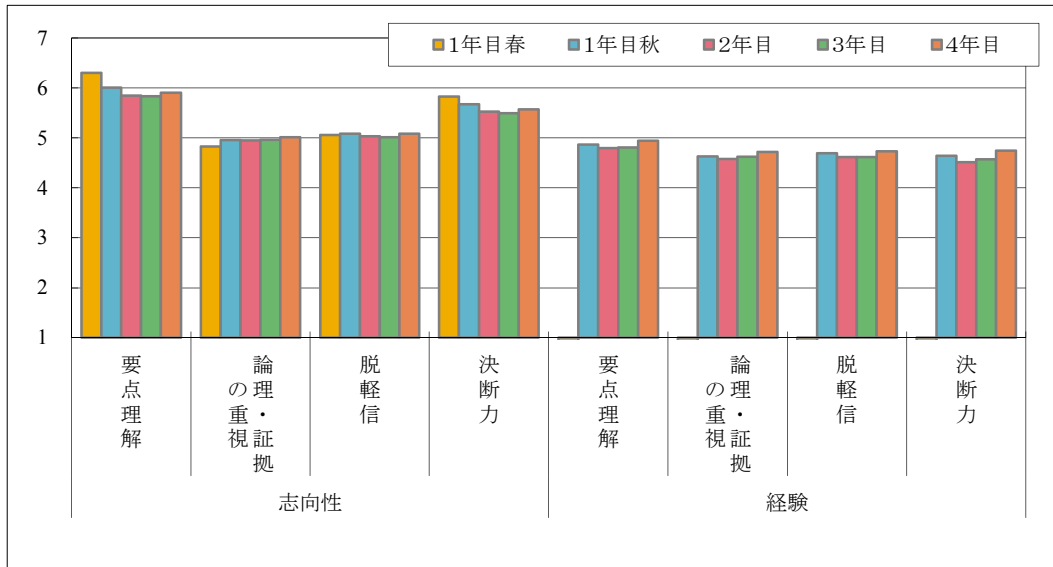


図2.1.2.1 考える力 志向性と経験の平均値(全学生)

(2) 「考える力」の習得について

考える力の習得に関する2項目について、「全くそう思わない」から「非常にそう思う」の5段階で回答を求めた。

- ・ 2項目とも、1年目春の学生の平均値が最も高く、高学年は低かった。入学直後の学生は、考える力を身につけたいと感じ、大学教育に対する期待も高いが、高学年のそれらは低いようである。
- ・ 他の3つの力（感じる力・コミュニケーション力・生きる力）の習得についての結果と比べると、大学教育に対する期待の平均値が高かった。

表2.1.2.2 考える力の習得についての平均値(全学生)

	「考える力」を身につけたいと思いませんか	「考える力」は三重大学の教育を通して身につけてほしいと思いませんか
1年目春	4.30	3.99
1年目秋	3.91	3.68
2年目	3.77	3.49
3年目	3.76	3.45
4年目	3.82	3.47
全学年	3.92	3.63

※得点の幅は1～5点。中点は3点。  
 ※全学年は、医学科5年生・6年生のデータを含む。

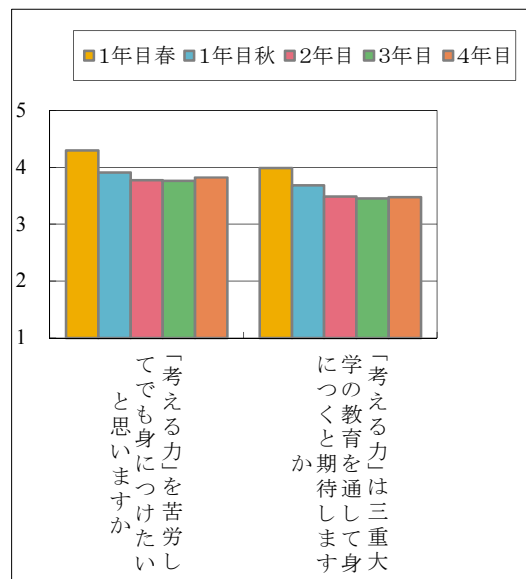


図2.1.2.2 考える力の習得についての平均値(全学生)



## 2.3 「コミュニケーション力」

### (1) 「コミュニケーション力」の志向性と経験について

コミュニケーション力について、志向性9項目と経験9項目を設定し、志向性は、「全くなりたくない」から「非常になりたい」の7段階で回答を求めた。経験は、「全くしていない」から「いつもしている」の7段階で回答を求めた。

- ・志向性（「多様性理解」「他の理解」「真正性」）は、1年目春の学生の平均値は高かったが、1年目の秋には低下した。入学直後は、コミュニケーション力を持った人になりたいという志向性は高いが、それを維持することが難しいようである。
- ・4年目の学生は、経験のどの得点（「多様性理解」「他の理解」「真正性」）も平均値が高かった。1年目の学生は、経験の「多様性理解」と「他の理解」の平均値が高かった。

表2.1.3.1 コミュニケーション力(志向性・経験)の平均値(全学生)

	志向性			経験		
	多様性理解	他の理解	真正性	多様性理解	他の理解	真正性
1年目春	5.84	5.99	5.52	—	—	—
1年目秋	5.60	5.73	5.46	4.99	5.20	4.59
2年目	5.53	5.62	5.36	4.86	5.06	4.56
3年目	5.47	5.58	5.34	4.86	5.02	4.58
4年目	5.59	5.67	5.40	5.02	5.16	4.63
全学年	5.61	5.73	5.41	4.93	5.11	4.59

※得点の幅は1～7点。中点は4点。

※全学年は、医学科5年生・6年生のデータを含む。

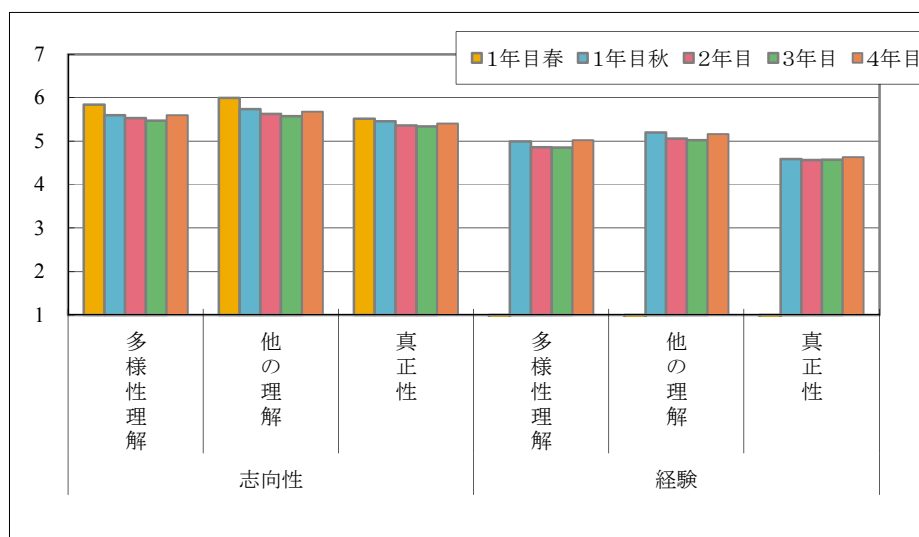


図2.1.3.1 コミュニケーション力 志向性と経験の平均値（全学生）

	志向性	経験
	(下記のような人になりたいかどうか)	(最近、下記のような経験したか)
多様性理解	人によって多様な意見を持っていることを理解する	
他の理解	他者の考えや意見を理解する	
真正性	他者の考えに対して正しいかどうかを指摘する	

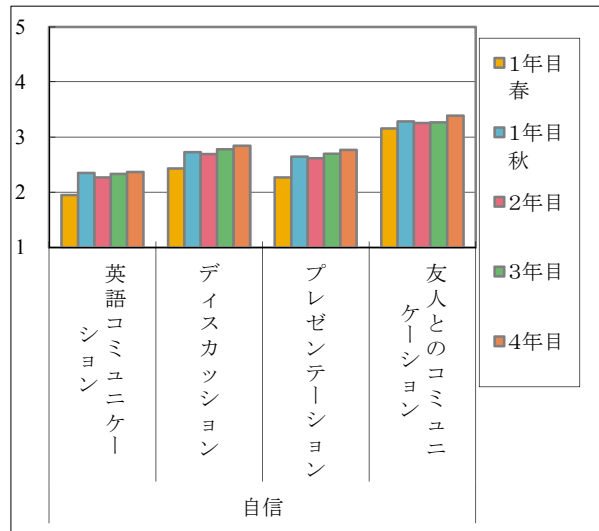
(2) 「コミュニケーション力」の自信について

コミュニケーションの自信についての4項目を設定し、「全く自信がない」から「非常に自信がある」の5段階で回答を求めた。

- ・どの得点も1年目春の学生の平均値が最も低く、4年目の学生の平均値が高かった。
- ・しかし、「英語コミュニケーション」や「ディスカッション」、「プレゼンテーション」に対する自信は、どの学年も中点の3点（どちらともいえない）を下回っているため、あまり自信を持っていないことが示された。

表2.1.3.2 コミュニケーション力 自信の平均値(全学生)

	自信			
	英語コミュニケーション	ディスカッション	プレゼンテーション	友人とのコミュニケーション
1年目春	1.95	2.43	2.27	3.16
1年目秋	2.35	2.73	2.65	3.29
2年目	2.27	2.69	2.62	3.26
3年目	2.34	2.78	2.70	3.27
4年目	2.37	2.85	2.77	3.39
全学年	2.25	2.69	2.59	3.27



※得点の幅は1～5点。中点は3点。

※全学年は、医学科5年生・6年生のデータを含む。

図2.1.3.2 コミュニケーション力 自信の平均値(全学生)

(3) 「コミュニケーション力」の習得について

コミュニケーション力の習得に関する2項目について、「全くそう思わない」から「非常にそう思う」の5段階で回答を求めた。

表2.1.3.3 コミュニケーション力の習得についての平均値(全学生)

	「コミュニケーション力」を身につけるのは、大変難しいと思いますか	「コミュニケーション力」は、大学の教育を通して身につけられますか
1年目春	4.44	4.02
1年目秋	4.13	3.65
2年目	3.93	3.38
3年目	3.88	3.29
4年目	3.91	3.34
全学年	4.07	3.55

※得点の幅は1～5点。中点は3点。

※全学年は、医学科5年生・6年生のデータを含む。

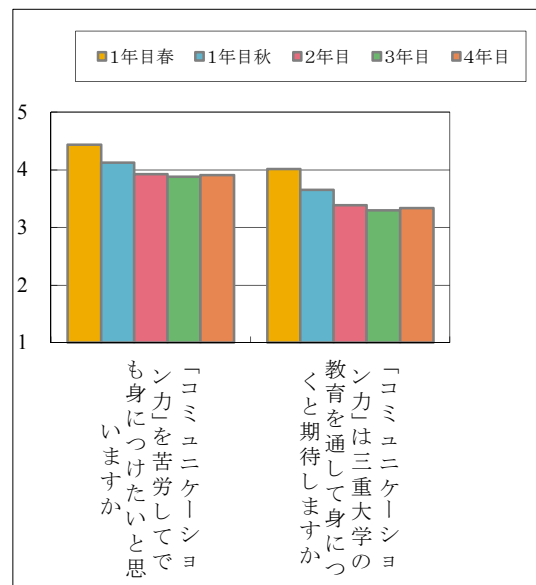


図2.1.3.3 コミュニケーション力の習得についての平均値(全学生)

- ・「苦勞してでも身につけたいと思いますか」は、全学年の平均値が4点(5段階評定の「そう思う」)付近と高く、どの学年もコミュニケーション力を身につけたいと感じている。特に1年目春の学生の平均値が高かった。
- ・「三重大の教育を通して身につくと期待しますか」は、1年目春の平均値が高く、高学年ほど平均値が低かった。高学年の学生は大学教育に対する期待はあまり高くないようである。
- ・他の3つの力(感じる力・考える力・生きる力)の習得についての結果と比べると、2項目間の平均値の差が大きく、苦勞しても身につけたいと考えているが、大学教育への期待は高くないようである。



## 2.4 「生きる力」

「生きる力」の習得について

生きる力の習得に関する2項目について、「全くそう思わない」から「非常にそう思う」の5段階で回答を求めた。

- ・2項目とも1年目春の学生の平均値が高かったが、1年目秋には平均値が低下した。入学後の約半年間で、生きる力を身につけたいという意識や大学教育への期待が大きく低下したようである。

表2.1.4.1 生きる力の習得についての平均値(全学生)

	「 も 身生 にき つる け力 た」 か いを と苦 思勞 いし まて す	教 待育生 をき 通る し力 て ま身は すに三 かと重 期の大 学
1年目春	4.33	3.95
1年目秋	3.95	3.59
2年目	3.79	3.36
3年目	3.78	3.32
4年目	3.84	3.32
全学年	3.94	3.52

※得点の幅は1～5点。中点は3点。  
※全学年は、医学科5年生・6年生のデータを含む。

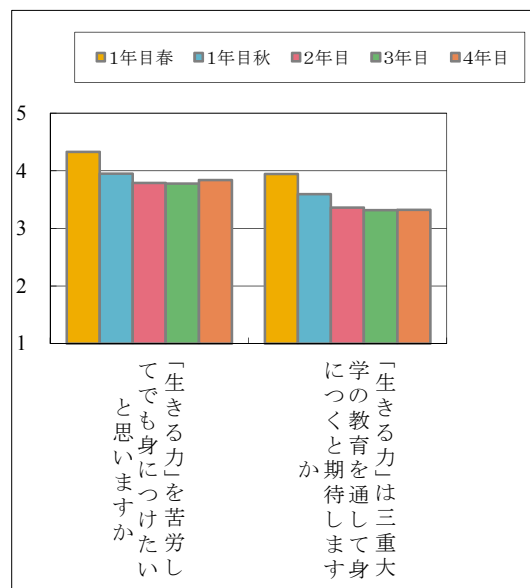


図2.1.4.1 生きる力の習得についての平均値(全学生)